



シオエ

※2018年3月改訂（第7版）  
2015年4月改訂

貯法：遮光した気密容器  
製造番号 箱側面に記載  
使用期限

日本標準品分類番号  
872312

承認番号 16000AMZ00819  
薬価収載 1952年3月  
販売開始 1952年3月  
再評価結果 1981年8月

止しゃ剤

日本薬局方

# タンニン酸アルブミン

Albumin Tannate

タンニン酸アルブミン シオエ

500g

製造販売元 シオエ製薬株式会社  
兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号

販売 日本新薬株式会社  
京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

### 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- 1) 出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌（O157等）や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。〕
- 2) 牛乳アレルギーのある患者〔ショック又はアナフィラキシー様症状を起こすことがある。〕
- 3) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

### 【原則禁忌】（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）

細菌性下痢患者〔治療期間の延長をきたすおそれがある。〕

### 【併用禁忌】（併用しないこと）

経口鉄剤（「相互作用」の項参照）

### 【組成・性状】

※成分・含量 (1g中)	日本薬局方タンニン酸アルブミン1g 本品はタンニン酸とタンパク質との化合物である。タンパク質の基原は乳性カゼインである。
※性状	本品は淡褐色の粉末で、においはないが、又は僅かに特異なにおいがある。

### 【効能・効果】

下痢症

### 【用法・用量】

タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

- (1) 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
  - 1) 肝障害のある患者〔肝障害を悪化させるおそれがある。〕
- (2) 相互作用  
併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤 (フェロミア、フェロ・グラデュメット、インクレミン、シロップフェルムカプセル)	併用により相互に作用が減弱することがあるので、併用しないこと。	鉄と結合したタンニン酸鉄となり、タンニン酸による収斂作用が減弱する。

(右面へ続く)

日本薬局方

# タンニン酸アルブミン

(\左面より続く)

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
止しゃ剤 (塩酸オペラミド)	塩酸オペラミドの効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をあけるなど併用に注意すること。	本剤が塩酸オペラミドを吸着することが考えられる。

### (3) 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### ●重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状（ともに頻度不明）を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

#### ●その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
長期・大量投与 <sup>注)</sup>	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注) 長期又は大量投与は避けること。

### (4) 高齢者への投与

減量するなど注意すること（一般に高齢者では生理機能が低下している）。

### 【取扱い上の注意】

配合変化 アルカリにより分解する。抱水コロラールやヨウ化物と混合すると湿潤する。

製造番号

使用期限

袋:PE,金属

紙:箱

〈調剤コード〉



(01)04987173531349

〈販売コード〉



(01)14987173081216